「神奈川からスポーツの風を起こす会」

日時：平成 30 年 8 月 15 日（水）午後 1 時～午後 2 時 30 分
会場：神奈川県スポーツ局 2 階会議室（日本経済新聞社横浜支局ビル 2 階）
（アクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」下車 （1 番出口） 徒歩 1 分

次 第

1 来賓挨拶

2 呼びかけ人挨拶

鈴木秀雄 かながわパラスポーツ普及推進検討会座長
社会福祉法人磯子コスモス福祉会理事長
関東学院大学名誉教授 余暇教育学・体育学博士(Ph.D.)

3 議長の選任

鈴木秀雄

4 会組織の概要

1）組織の名称

「神奈川からスポーツの風を起こす会」

会長： 鈴木秀雄 副会長： 小野 力

2）組織の意義

・東京ではなく、神奈川から巻き起こす
・呼び掛け人は、様々な社会の領域・階層から求める
・日本の未来を創るのは子どもたち
・勉学と共に身体運動は、創造性を持つ子どもの成長を育む
・日本のスポーツを創るのも子どもたち
・少子高齢化の日本の未来に向けて、子どもを育てる自律自助のスポーツクラブを作るべき

3）組織の目的

・新しいスポーツクラブを作っていく
・五輪が近づくにつれ、2020東京オリパラのレガシー（遺産）が問われている
・そのレガシーの実現に：
①神奈川の風を起こす
②「サマータイムの導入」を促す活動もすすめる
・メダルを獲得するだけでなく、スポーツの理想・理念を残すべき
・スポーツクラブを統括するコーディネーターが求められている
・「かながわパラスポーツ」及び「3033 運動」の普及推進を支援する
・スポーツの正義を進めるコーディネーターが求められている
・スポーツの風を起こす仲間が求められている。
・用語使用も「体育からスポーツ」へと時代は流れている
・運動部活動はスポーツとして「教育と身体活動が分離」する流れだが、熟考すべき
・行政もスポーツ局と教育委員会とのかけ橋が必要
・インターネットの発信だけでなく、人脈の輪を広げよう

5　組織の基盤に関する話題提供

①神奈川からスポーツの風を起こす主旨と、その風の起こし役としての「コーディネーター」の養成

話題提供者：　関東学院大学名誉教授　　鈴木　秀雄

②現代の日本におけるスポーツ界の不祥事について

話題提供者：　弁護士、元日本スポーツ法学会会長、スポーツ庁運動部活動の在り方に関するアドバイザリー会議委員　　菅原　哲朗

③スポーツの理念について（海外事情も含めて）

話題提供者：　日本女子体育大学招聘教授　　福岡　孝純

④スポーツ界における「村社会」について

話題提供者：　朝日新聞東京本社 オピニオン 編集部　後藤　太輔

⑤子どもの成長・発達に向けて欠かせないスポーツ関連活動の風を送り続けて

話題提供者：　株式会社アグサ会長、プロジェクトアドベンチャー施設、森の空中あそび「パカブ」の創設・運営　　桜井　孝一

6　討議

7　今後の動き

・災害地の支援などを視野（チャリティー）に「シンポジウム」等の開催

8　事務局（問い合わせ先）

社会福祉法人磯子コスモス福祉会

担当：「中原苑」施設長　水戸部北斗

「中原苑」事務長　釼持　　武